

業務紹介
パンフレット
(獣医系職員)

独立行政法人 家畜改良センター

「日本の畜産 改良と技術で育てます」

家畜改良センターは、畜産の発展と国民の豊かな食生活に貢献することを目的とした、1本所10牧場1支場からなる全国組織の独立行政法人です。



センターの 業務について

「小さなタネから大きなウシまで」

家畜改良センターの業務は多岐にわたります。

■ 家畜の改良増殖の推進

- ・畜産物の需要の変化に応じた優良な種畜・種きん等の生産・供給
- ・遺伝的能力評価の実施
- ・種畜検査の実施
- ・家畜の遺伝資源の保存

■ 飼料作物種苗の生産・供給と検査

- ・日本の多様な気候に適した飼料作物種子及び種苗の生産・供給
- ・国際的な種子品種証明制度に基づく飼料作物種子の検査・証明

■ 畜産新技術の開発・実用化

- ・有用形質関連遺伝子等の解析
- ・食肉の食味に関する評価手法の開発
- ・繁殖関連技術の開発・実用化
- ・飼養管理関連技術の開発・実用化

■ 牛トレーサビリティ業務 ■ 法律に基づく検査

- ・全国の牛のトレーサビリティに必要な個体識別番号や出生異動履歴などの情報の管理、公表
- ・家畜改良増殖法に基づく立入検査
- ・種苗法に基づく指定種苗の集取・検査

■ 技術の普及指導 ■ 外部支援

- ・開発された技術の生産現場への普及のための研修会の実施、海外技術協力
- ・国内における家畜伝染性疾病や自然災害発生時等の外部支援・協力



宮崎牧場で造成したデュロック種系統豚「ユメサクラエース」



新冠牧場で生産した種雄牛「NLBC バルサバベツジ」



岡崎牧場で作出した「岡崎おうはん」



鳥取牧場で生産した種雄牛「光平栄」



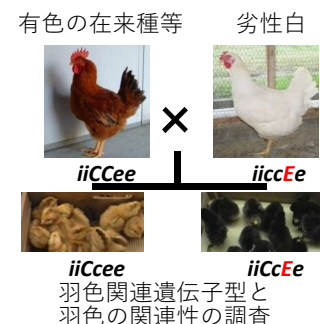
指定種苗の発芽率検査



コンバインによる種子の収穫



耳標に印字された個体識別番号



羽色関連遺伝子型と羽色の関連性の調査



飼料自給率向上のための研修会



緊急時における粗飼料等支援

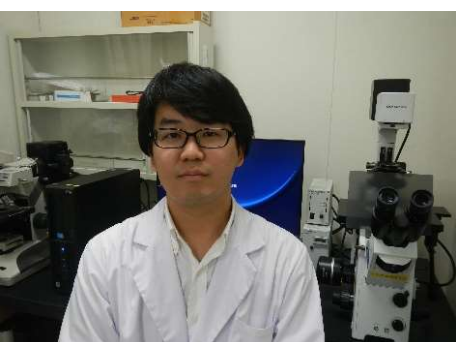
先輩からの メッセージ

獣医系職員の業務は、防疫及び検査、診療、繁殖関連業務等となります。

現在活躍している若手職員から、担当している業務内容や、仕事のやりがいなどのメッセージをお届けします。

改良部 生産衛生課

令和2年度採用



Q1.現在の仕事内容について

家畜改良センターの各牧場で飼養されている家畜の衛生検査を主に担当しています。特に一度牧場に侵入すると業務を実施していくうえで重大な障害となるヨーネ病や牛伝染性リンパ腫などの伝染性疾病を対象としてモニタリングを行い、牧場の清浄性維持に努めています。これらの検査はリアルタイムPCR等の高価な機器を必要とするため生産衛生課で集約的に行っています。

Q2.家畜改良センターを選んだ理由

学生時代に家畜診療所でインターンをした経験から、産業動物臨床を仕事にしたいという思いがあり、農業者団体の診療所や牧場を中心に就職活動をしていました。その中でも家畜改良センターを選んだ一番の理由は、牛豚鶏等の主要な家畜だけでなく馬や山羊・めん羊といった畜種も飼養しており、様々な畜種に触れることができるという他にはない環境に魅力を感じたためです。

十勝牧場 衛生課

令和元年度採用



Q1.現在の仕事内容について

私の職場の十勝牧場には、牛では肉用種の黒毛和種とホルスタイン種が、馬ではかつて重い荷物の運搬や農耕に用いられた重種馬が、羊ではラム肉生産用の肉用種であるサフォーク種が飼養されています。これらの家畜について、具合の悪い家畜を診て原因を探究し治療を行う診療、家畜や家畜の過ごしている環境に感染症の原因となる病原体がいるかないかを調べる検査、感染症の発生や拡大を防ぐために行う消毒等の防疫といった仕事をしています。

Q2.家畜改良センターを選んだ理由

就職活動の際、念頭に置いていたことは「民間企業か行政職員か」、「生産動物臨床か公衆衛生か」でした。活動が進むにつれ私は行政職員かつ生産動物臨床志向であることを自覚しました。行政職員でありながら生産動物臨床を仕事にできる就職先を研究した結果、家畜改良センターが私にとっての最適解でした。

熊本牧場 業務課

令和2年度採用



Q1.現在の仕事内容について

熊本牧場では、褐毛和種（あか牛）の繁殖、肥育（産肉能力の検定）及び候補種雄牛の作出を行っています。獣医師である私はこれらの牛の診療や衛生管理を主としていますが、畜産系職員や技術専門職員とともに飼養管理を行いつつ、繁殖業務では、人工授精だけでなく、採卵やと体由来の卵巣から体内及び体外受精卵の作成・移植も実施しています。また、候補種雄牛の精液採取・検査の業務や当牧場から出荷した肥育牛の枝肉調査を実施するなど、家畜に関わる業務全般に携わっています。

Q2.仕事のやりがいについて

毎日健康チェックをし、治療した牛が元気になり、成長していく姿をみるととてもうれしいです。これについては、獣医師だけでなく家畜担当職員皆で餌の管理や畜舎を清潔に保つなど、話し合いをしながら飼養管理を行っているからこそできることで、牛の健康が維持できると更にやりがいがあります。



最新情報・詳細はホームページをご覧ください <http://www.nlbc.go.jp/saiyo/>

[見学申込み・お問合せ先]

〒961-8511

福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原 1 番地

独立行政法人 家畜改良センター 総務部人事課 TEL：0248-25-2759（直通）